

**Q** 議員定数削減の町長公約は疑問



杉本五郎 議員

**A** 議員定数は議会が決めるもの

**問** 柴田町議会では議員定数削減について、これまで数度、そのときの社会情勢や住民意向を参考に議会側が自主的に見直し、削減をしてきた。また、昨年も適正な議員定数や報酬について公聴会や参考人制度を活用し、検討することとしていた。

町長はこうした議会の動きを知らずから選挙公報で「町民の強い要望です。果敢に取り組み」と議員定数削減を公約して

いたが、本当に町民の要望なら何よりも議会に伝えるべきではないのか。このような議会を敵に回すようなやり方は、町長と議会のせつかくの信頼関係を壊すものだ。

**答** 滝口町長 これまでの議会の定数削減問題への真摯な取り組みに心からの敬意を表します。

ただ、合併時に在任特例を使い東京都議会より巨大な議会をつくり、住民の批判を受けたところ

もあり、本町でも平成16年12月議会で定数を2人減したが無競争となり、「4人減していれば」とか、あるいは、議会が議会活性化を優先させ、定数問題を後回しにしたことへの失望感もだされていきます。

こうした住民の思いを代弁し、定数問題に取り組んで欲しいとの思いからの公約であり、議員定数は、住民の意向を受けて、議会が決めるべきものと思います。



議会風景

**問** 健全な運動が知育・発育につながると思えるのか。

(1) 遊具の設置基準はあるのか。

(2) 事故を避け安全性を図るためにも、公園の使い分けを考えるべきではないか。

(3) 大きな公園に遊具を集中設置してはどうか。

(4) 遊具の下に町有林の間伐材を活用して安全マットを作って使用しては。

(5) 高齢者の健康維持器

**Q** 今からは三世代間で使える公園づくりを考えて



我妻弘国 議員

**A** これからはユニバーサルの公園づくりで対応



船岡中央公園(船岡東2丁目)

**答** 滝口町長 (1) 設置基準はありません。

(2) 公園愛護協力委員と協議して遊びの指導をお願いし、看板でも注意啓発に努力します。

(3) 遊具の必要性について、区長と関係者で協議していきます。

(4) 安全マットは高価なので、公園愛護協力会の協力を得ながら砂敷きで対応していきます。

(5) これからはユニバーサルデザインを目標に、各世代のみなさんがワークショップなどで公園づくりをすべきと考えます。

利用面や維持管理面でも住民との協働につながるメリットもあると考えます。

(3) 遊具の必要性について、区長と関係者で協議していきます。